

想定最大（1000年に一度程度）の洪水が来た場合、四日市市ではこの範囲まで浸水します。

大雨から命を守るために



近年は、地球温暖化による気候変動の影響で、雨の降り方も変化しています。洪水などの水害から命を守るためには、もしもの時、いかに素早く避難行動に移れるかが鍵となります。雨が多くなる時期（6～10月）に備えて、自分や家族の避難するタイミング「避難スイッチ」を確認しましょう。

事前の備えで被害を最小限に 一大雨の備えは情報収集から

気象・河川水位などの情報は、パソコンやスマートフォンなどで取得できます。これらを積極的に利用して、自主的な避難行動に役立てましょう。

大雨警報や洪水警報などが発表されたら

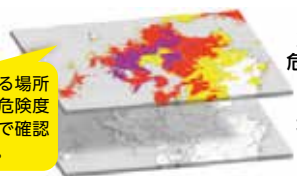
キキクル（大雨による災害発生の危険度分布）を活用しよう

大雨による災害の危険度を地図上で確認できる気象庁によるサービスです。全国どの場所で、どのくらい災害の危険度が高まっているかを知ることができます。最大3時間先の予測まで危険度の情報を確認できます。



四日市市バージョンはこちら

雨による災害の危険度を地図上にリアルタイム表示



自分がいる場所の災害の危険度を地図上で確認できます。

災害危険度
+
地図

災害の種類別に危険度を表示



土砂キキクル（土砂災害）



浸水キキクル（浸水災害）



洪水キキクル（洪水災害）

危険度を5段階に色分けして表示



災害切迫 ← 重大な災害が発生または切迫している
危険 ← 重大な災害がいつ発生してもおかしくない
警戒
注意
今後の情報等に留意

※洪水キキクルの「今後の情報等に留意」は水色表示

「普段と違うな」と感じたら、ためらわず避難を

短い時間に激しい雨が降ると、避難情報の発令が間に合わないことがあります。また、大きな川だけでなく、小さな川や用水路があふれて、逃げるタイミングを逃してしまうこともあります。このようなことを避ける

ため、「避難スイッチ」をどの時点で押すのかあらかじめ決めておくことが大切です。

「普段と違うな」という違和感や身の危険を感じた場合は、ためらわず自分で早めに避難することを心掛けてください。



危機管理課 林

こちらもチェック！

ハザードマップ

洪水や土砂災害など、起こり得る災害とその被害の想定をまとめています。



避難場所

最寄りの避難場所はどこか、そこまでどうやって行くのか事前に確認しましょう。



四日市市防災気象情報

市内の雨量や各河川の水位、気象注意報などをまとめて確認できます。



いざというときの行動をみんなで話し合いましょう

